

平成24年度 産業技術振興講演会 「医療機器市場セミナー」開催報告

当センターでは毎年、東北地域の産業・技術の振興に資するため、内外の最新政策、技術の動向等について、大学等の研究者、政府の政策担当者、先導的な企業の方をお招きしてご講演いただく「産業技術振興講演会」を開催していますが、平成23年度に引き続きみやぎ高度電子機械産業振興協議会*との共催で市場・技術セミナーを開催しました。

今回テーマとして取り上げた医療機器市場は、高齢化の進展に伴い今後も成長すると予測されていることから、本市場について理解を深め、市場参入および取引拡大につながるヒントを得る目的で開催しました。

当日は、企業、大学、行政等から約80名の参加者があり、熱心に聴講していました。

講演後には、多くの受講者が講師と名刺交換をするなど活発に意見交換する姿が見られ関心の高さが伺われました。

<講演会内容>

日時：平成24年12月21日(金) 13:30~16:30

会場：エル・パーク仙台 5階セミナーホール

(仙台市青葉区一番町4-11-1)

開会挨拶

- ・公益財団法人東北活性化研究センター
副会長 鎌田 宏
- ・みやぎ高度電子機械産業振興協議会
会長 伊藤 努



公益財団法人東北活性化研究センター
副会長 鎌田 宏

講演

- ①演 題 「日本BDが興味を持つ医療機器市場分野」
講 師 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ストラテジック・プランニング&ビジネス・ディベロップメント
マネージャー 山岡 義明 氏

講師企業紹介

世界的にも成長分野として期待される医療分野において、真空採血管やインスリン注射器、白血球細胞群を自動で分析解析するフローサイトメトリーシステムで世界のトップシェアを誇り、生産拠点として1987年に福島に工場を設立。BDの歴史は110年以上前に注射器を販売した時から始まり、福島工場では生培地と充填式注射器の2つの製品群を製造し、敷地内の配送センターから輸入した製品を日本全国へ出荷。

講師紹介

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社に入社後 日本のユニークな技術・製品を活用した新規事業開発および経営企画に従事。



山岡 義明 氏

講演の主な内容

- ・会社紹介:医療機器、検査・診断システム、試薬等を製造販売するグローバルカンパニー



みやぎ高度電子機械産業振興協議会
会長 伊藤 努



会場全体



商品展示：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

- ・事業紹介：3つの事業領域（研究、診断・検査、治療）
- ・新規事業開発の考え方
- ・医療の将来像と地域企業が取組むべき方向性

- ②演 題 「医療機器承認等のプロセスについて」
講 師 AMDD（米国医療機器・IVD工業会）
薬事・品質保証委員会
委員長 佐藤 則子 氏

講師団体紹介

AMDDは米国に本社を置く医療機器および体外診断用医薬品（IVD）企業の日本法人、もしくは米国で販売を行う日本・欧州の医療機器・IVD企業の日本法人等67社で構成される団体。

講師紹介

2009年よりAMDDのRAQA（薬事・品質保証）委員会委員長を務め、厚生労働省「医療機器審査迅速化アクションプログラム」のレビュー会議に参加し、デバイスラグ・デバイスギャップの解決のための医療機器承認審査の迅速化、現行の薬事法の改正に関して活動中。



佐藤 則子 氏

講演の主な内容

- ・医療機器の薬事承認のプロセス
- ・医薬品と医療機器の違い
- ・医薬品・医療機器のライフサイクル
- ・本邦における医療機器の導入状況
- ・薬事承認取得から上市までの手続きの概略

- ③演 題 「異業種からの医療機器市場への参入」
講 師 株式会社ズキプレシオン
代表取締役会長 鈴木 庸介 氏

講師会社紹介

優れた金属加工技術を武器に、チタン合金加工、微細部品加工を駆使し、製品開発体制を構築、下請企業から自立した医療機器メーカーを目指している。経済産業省の元気なものづくり300社に選定されており、他に数々の賞を受賞。

講師紹介

栃木県鹿沼市出身、銀行に勤務後、父が創業した(有)鈴木精機に入社。

1991年代表取締役社長就任。現在は代表取締役会長に至る。



鈴木 庸介 氏

講演の主な内容

- ・会社概要
- ・医療機器産業への関わり
- ・医療機器産業への新規参入、3つのスタイル（①部材供給、②製造業、③製造販売業）と特徴
- ・医療機器製造販売業への参入と上市・販売までのプロセス
- ・医療機器開発の事例

※みやぎ高度電子機械産業振興協議会について

内 容：宮城県内の技術高度化及び経営の革新を図り、高度電子機械市場における取引の創出・拡大を目指し創設。

県が進める人材確保・育成施策や技術研究開発施策、企業誘致施策との相乗的な事業展開により、高度電子機械産業の集積を目指している。

また、電機・電子関連産業における、産産連携や産学連携を基礎とした、高成長・高付加価値市場への参入としては特に「半導体・太陽電池製造装置」、「医療・健康機器」、「エネルギーデバイス」、「航空機」の4分野については、重点市場と位置付けて、県内企業の取引創出・拡大等に繋がるよう、市場理解や連携構築に向け、展開している。

会員数：（平成24年11月現在）322団体